

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書（護岸概成時）

（令和 6 年 11 月分）

【海域生態系調査】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 調査結果の概要 I - 3

II 事後調査結果

- 1. 海域生態系調査 II - 1

I 事後調査の概要

1. 調査概要

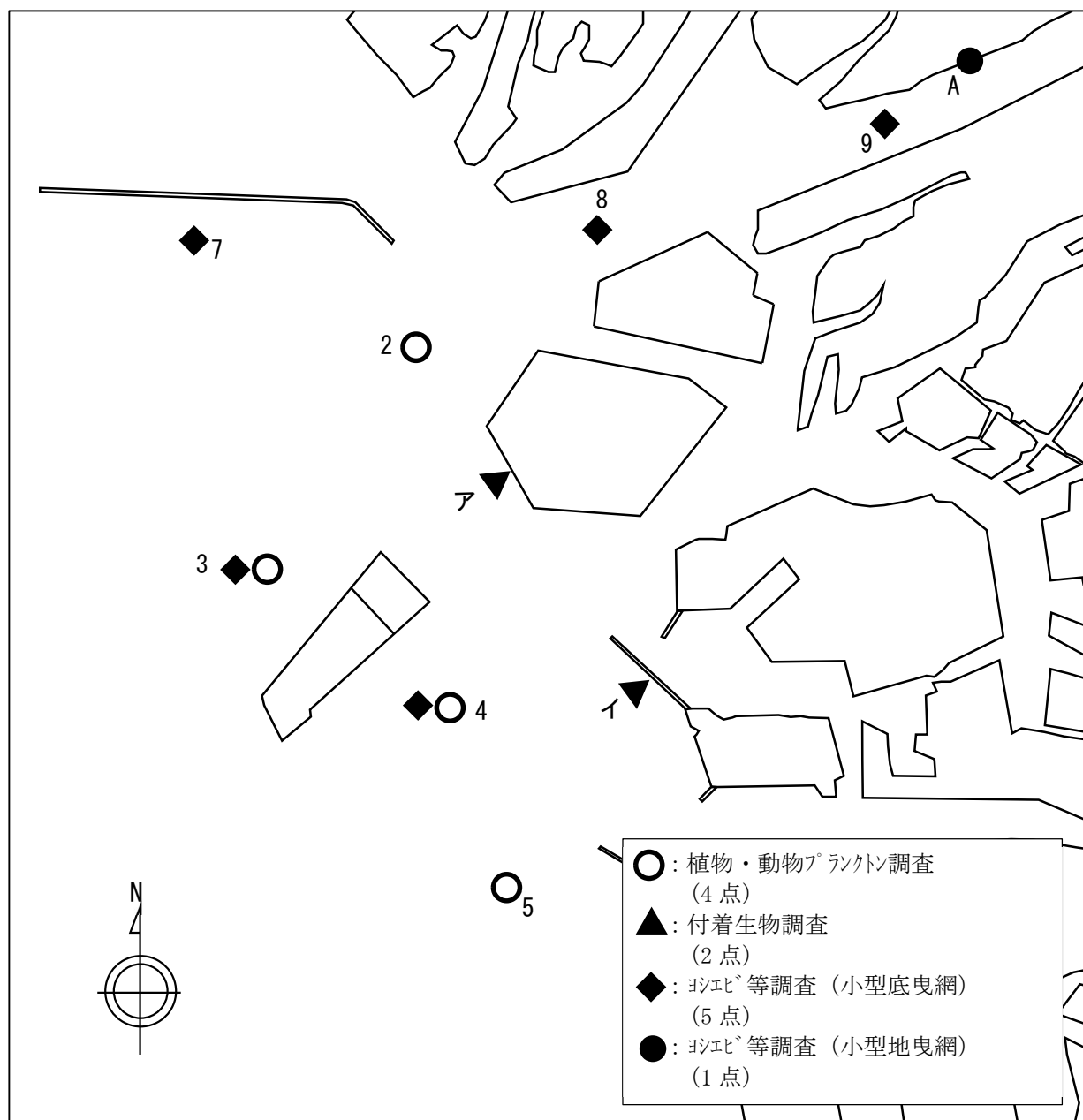
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和6年11月の事後調査(海域生態系調査)の概要は表－1に、調査点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1 事後調査（海域生態系調査）の概要（令和6年11月）

（8）海域生態系

調 査 項 目			調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)	
植物プランクトン調査			種組成、細胞数	4点×2層 【2, 3, 4, 5】 (海面下1m、海底面上2m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	11月27日	バントーン型採水器を用いて採水し、室内分析を行う。
動物プランクトン調査			種組成、個体数	4点×1層 【2, 3, 4, 5】 (鉛直曳き)	4回 (2, 5, 8, 11月)	11月27日	北原式定量ネットを用いて採取し、室内分析を行う。
付着生物調査①			種組成、個体数、湿重量	2点3層 【7, 1】 (平均水面、大潮期最低潮面、大潮期最低潮面-1m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	12月2日※	ダイバーによる目視観察及び採取調査を行う。
付着生物調査②			ムラサキガイ現存量調査	2点 【7, 1】	4回 (2, 5, 8, 11月)	12月2日※	ダイバーによる目視観察及び採取調査を行う。 採取調査ではムラサキガイの分布が比較的均質な場所を選び、分布層の上位・中位・下位の3層で採集する。 また、目視観察では0.5～1m 毎に被度と厚みを測定する。
水産生物①	ヨシエビ等現存量調査	小型底曳網調査	種別個体数、全長	5点 【3, 4, 7, 8, 9】	12回 (毎月)	11月27日 12月2日※	カバーネットを付けた石桁網又はこれと同等の漁具を用い曳網を行う。
			水温、塩分、DO				船上より測定器を垂下し、1mビッチで測定する。
水産生物②	ヨシエビ等現存量調査	小型地曳網等調査	種別個体数、全長	淀川の岸辺1点	4回/年 (3, 4, 10, 11月)	11月25日	淀川の岸辺で小型地曳網等を用いて曳網を行う。
			水温、塩分				採水し、機器測定を行う。

※付着生物調査①、付着生物調査②、水生生物①については11月に調査予定であったが、荒天の影響により順延し、12月2日に調査を実施した。



図—1 海域生態系調査点 (令和6年11月)

2. 調査結果の概要

(1) 海域生態系調査

1) 植物プランクトン【海域生態系様式 1 号】

植物プランクトンの調査点別出現種類数は上層（海面下 1m）では 24～47 種数、下層（海底面上 2m）では 32～55 種数、細胞数は上層では、42,000～164,600cells/L、下層では、33,300～74,500cells/L の範囲にあった。沈殿量は上層では、0.04～0.11mL/L、下層では、0.04～0.15mL/L であった。

細胞数による主な出現種は、上層は CRYPTOPHYCEAE、*Skeletonema costatum* complex、Unknown micro-flagellate、下層では *Skeletonema costatum* complex、CRYPTOPHYCEAE であった。

2) 動物プランクトン【海域生態系様式 2 号】

動物プランクトンの調査点別出現種類数は 16～25 種数、個体数は、68,864～105,633 個体/m³ であった。沈殿量は 4.1～6.6mL/m³ であった。

個体数による主な出現種は、*Paracalanus* sp.、*Oithona brevicornis*、*Oithona* sp.、*Paracalanus crassirostris* であった。

3) 付着生物①【海域生態系様式 4、5 号】

付着植物の出現種類数（各層の合計）は、調査点アで緑藻綱 2 種類、褐藻綱 1 種類、紅藻綱 3 種類の計 6 種類であり、調査点イで緑藻綱 2 種類、紅藻綱 1 種類、その他 1 種類の計 4 種類であった。

各層の湿重量は、調査点アでは 0.51～5.39g/0.1 m²、調査点イでは 0.11～0.50g/0.1 m² の範囲であった。

湿重量による主な出現種は、調査点アではアオサ属、イトグサ属であり、調査点イではシオグサ属、アオサ属、ヒメテングサ属であった。

付着動物の出現種数（各層の合計）は、調査点アで軟体動物門 16 種類、環形動物門 25 種類、節足動物門 23 種類、その他 15 種類の計 79 種類であり、調査点イで軟体動物門 13 種類、環形動物門 21 種類、節足動物門 16 種類、その他 8 種類の計 58 種類であった。

各層の個体数は、調査点アで 3,429～3,676 個体/0.1 m²、調査点イで 577～3,313 個体/0.1 m² の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、調査点アではウスカラシオツガイ、イワホリガイ科であり、調査点イではイワホリガイ科、アメリカフジツボ、イソギンチャク目であった。

4) 付着生物②【海域生態系様式 6 号】

枠取り調査によると、ムラサキイガイは調査点アでは確認されず、調査点イで 1 個体/0.25 m² 確認された。また、湿重量は調査点イで 0.15 g/0.25 m² であった。

目視観察による確認はなかった。

5) 水産生物(ヨシエビ等)(小型底曳網調査)【海域生態系様式 7、8 号】

水温は、水深 0.5m で 14.8～18.7℃、海底面上 1.0m で 17.4～19.7℃の範囲にあった。

塩分は、水深 0.5m で 14.7～31.3、海底面上 1.0m で 26.5～32.1 の範囲にあった。

溶存酸素量 (D0) は、水深 0.5m で 6.9～10.5mg/L、海底面上 1.0m で 6.0～7.3mg/L の範囲にあり、D0 飽和度は水深 0.5m で 82.2～123.1%、海底面上 1.0m で 75.2～92.7%の範囲にあった。

生物の出現種数は、全調査点の合計で魚類 9 種類、甲殻類 8 種類、その他 2 種類の計 19 種類であった。

個体数は、魚類は 0～26 個体、甲殻類が 2～57 個体、その他が 0～2 個体の範囲にあり、湿重量は、魚類が 0～15336.9 g、甲殻類が 3.7～264.2 g、その他が 0～44.7 g の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、シャコ、スベスベエビ、アカエビであり、シャコは調査点 3、7 で、スベスベエビは調査点 4、8 で、アカエビは調査点 4 で主要種となった。

湿重量による主な出現種は、アカエビであり、アカエビは調査点 3、4、8 で主要種となった。

6) 水産生物(ヨシエビ等)(小型地曳網等調査)【海域生態系様式 9 号】

調査時の水温は、14.4℃、塩分は 23.3 であった。

水産物は魚類 2 種類、甲殻類 1 種類の計 3 種類であった。

個体数は、魚類は 29 個体/曳網、甲殻類が 3 個体/曳網であり、湿重量は、魚類が 0.2 g /曳網、甲殻類が 0.1 g 未満/曳網であった。

主な出現種は、個体数、湿重量ともにキチヌであった。

Ⅱ 事後調查結果

植物プランクトン調査結果 (1) [令和6年11月分]

調査日：令和6年11月27日

項目	調査点	2	
		上 層	下 層
種類数		43	34
細胞数 [cells/L]		164,600	39,400
沈殿量 [mL/L]		0.11	0.15
主要種 細胞数[%]	CRYPTOPHYCEAE	<i>Skeletonema costatum</i> complex	
		74,800 (45.4)	14,800 (37.6)
	Unknown micro-flagellate	CRYPTOPHYCEAE	
		20,800 (12.6)	5,800 (14.7)
	<i>Chaetoceros debilis</i>	<i>Chaetoceros debilis</i>	
		20,600 (12.5)	4,200 (10.7)

項目	調査点	3	
		上 層	下 層
種類数		24	32
細胞数 [cells/L]		42,000	60,600
沈殿量 [mL/L]		0.10	0.13
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex	<i>Skeletonema costatum</i> complex	
		23,600 (56.2)	43,000 (71.0)
	CRYPTOPHYCEAE		
		8,400 (20.0)	
	Unknown micro-flagellate		
		4,200 (10.0)	

項目	調査点	4	
		上 層	下 層
種類数		38	55
細胞数 [cells/L]		68,200	74,500
沈殿量 [mL/L]		0.05	0.05
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex	<i>Skeletonema costatum</i> complex	
		23,200 (34.0)	24,200 (32.5)
	CRYPTOPHYCEAE	CRYPTOPHYCEAE	
		12,000 (17.6)	15,000 (20.1)
	Unknown micro-flagellate		
		7,000 (10.3)	

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

植物プランクトン調査結果 (2) [令和6年11月分]

調査日：令和6年11月27日

項目	調査点	5	
		上 層	下 層
種類数		47	42
細胞数 [cells/L]		59,000	33,300
沈殿量 [mL/L]		0.04	0.04
主要種 細胞数[%]		CRYPTOPHYCEAE 16,300 (27.6) <i>Skeletonema costatum</i> complex 14,800 (25.1) Unknown micro-flagellate 6,100 (10.3)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 10,500 (31.5) CRYPTOPHYCEAE 4,600 (13.8)

項目	調査点	平均	
		上 層	下 層
種類数		72	76
細胞数 [cells/L]		83,450	51,950
沈殿量 [mL/L]		0.08	0.09
主要種 細胞数[%]		CRYPTOPHYCEAE 27,875 (33.4) <i>Skeletonema costatum</i> complex 18,750 (22.5) Unknown micro-flagellate 9,525 (11.4)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 23,125 (44.5) CRYPTOPHYCEAE 7,250 (14.0)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

動物プランクトン調査結果 [令和6年11月分]

調査日：令和6年11月27日

項目 \ 調査点	2	3
種類数	18	16
個体数 [個体／m ³]	68,864	76,048
沈殿量 [mL／m ³]	4.1	4.7
主要種 個体数[%]	<i>Oithona brevicornis</i> 18,228 (26.5) <i>Oithona</i> sp. 16,203 (23.5) <i>Paracalanus</i> sp. 14,177 (20.6) <i>Paracalanus crassirostris</i> 7,089 (10.3)	<i>Paracalanus</i> sp. 16,386 (21.5) <i>Oithona</i> sp. 15,422 (20.3) Paracalanidae 13,976 (18.4) <i>Oithona brevicornis</i> 13,976 (18.4)

項目 \ 調査点	4	5
種類数	20	25
個体数 [個体／m ³]	98,588	105,633
沈殿量 [mL／m ³]	6.6	4.8
主要種 個体数[%]	<i>Paracalanus</i> sp. 30,118 (30.5) <i>Oithona brevicornis</i> 22,588 (22.9) <i>Paracalanus crassirostris</i> 11,294 (11.5) <i>Oithona</i> sp. 10,824 (11.0)	<i>Paracalanus</i> sp. 48,172 (45.6) <i>Paracalanus crassirostris</i> 19,785 (18.7)

項目 \ 調査点	平均
種類数	30
個体数 [個体／m ³]	87,283
沈殿量 [mL／m ³]	5.1
主要種 個体数[%]	<i>Paracalanus</i> sp. 27,213 (31.2) <i>Oithona brevicornis</i> 14,988 (17.2) <i>Oithona</i> sp. 12,118 (13.9) <i>Paracalanus crassirostris</i> 9,988 (11.4)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

付着生物調査結果（付着植物）（1） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

項目		調査点 層	ア			平 均
			上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱		2	2	2	2
	褐藻綱		1	1	1	1
	紅藻綱			1	3	3
	そ の 他					
	合 計		3	4	6	6
湿重量 [g]	緑藻綱		5.39	0.51	0.11	2.00
	褐藻綱		+	+	+	+
	紅藻綱			+	1.99	0.66
	そ の 他					
	合 計		5.39	0.51	2.10	2.67
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱		100.0	100.0	5.2	75.1
	褐藻綱		+	+	+	+
	紅藻綱			+	94.8	24.9
	そ の 他					
	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]			アオサ属 5.38 (99.8)	アオサ属 0.50 (98.0)	イトクサ属 1.99 (94.8)	アオサ属 1.97 (74.0) イトクサ属 0.66 (24.9)

- 注）1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着植物）（2） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

項目		調査点 層	イ			平 均
			上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱		2	2	2	2
	褐藻綱					
	紅藻綱		1			1
	そ の 他		1			1
	合 計		4	2	2	4
湿重量 [g]	緑藻綱		0.19	0.11	0.35	0.22
	褐藻綱					
	紅藻綱		0.27			0.09
	そ の 他		0.04			0.01
	合 計		0.50	0.11	0.35	0.32
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱		38.0	100.0	100.0	67.7
	褐藻綱					
	紅藻綱		54.0			28.1
	そ の 他		8.0			4.2
	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]			ヒメテンク [*] サ属 0.27 (54.0)	アオサ属 0.09 (81.8)	シオク [*] サ属 0.30 (85.7)	シオク [*] サ属 0.11 (34.4)
			アオサ属 0.18 (36.0)	シオク [*] サ属 0.02 (18.2)	アオサ属 0.05 (14.3)	アオサ属 0.11 (33.3)
						ヒメテンク [*] サ属 0.09 (28.1)

- 注）1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）（1） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

項目		調査点層	ア			平 均
			上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	10	11	12	16	
	環形動物門	16	18	17	25	
	節足動物門	11	18	18	23	
	そ の 他	4	7	14	15	
	合 計	41	54	61	79	
個体数	軟体動物門	1,794	1,286	1,602	1,561	
	環形動物門	341	197	908	482	
	節足動物門	1,016	1,812	787	1,205	
	そ の 他	278	381	257	305	
	合 計	3,429	3,676	3,554	3,553	
個体数組成比 [%]	軟体動物門	52.3	35.0	45.1	43.9	
	環形動物門	9.9	5.4	25.5	13.6	
	節足動物門	29.6	49.3	22.1	33.9	
	そ の 他	8.1	10.4	7.2	8.6	
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	
湿重量 [g]	軟体動物門	66.68	32.09	30.78	43.18	
	環形動物門	4.02	1.55	7.70	4.42	
	節足動物門	141.92	165.40	45.53	117.62	
	そ の 他	6.86	4.05	3.26	4.72	
	合 計	219.48	203.09	87.27	169.95	
主要種 個体数 [%]		ウスカラシオツガイ 690 (20.1) コウロエンカラヒバツガイ 527 (15.4) イワホリガイ科 480 (14.0) タテジマフジツボ 409 (11.9)	ウスカラシオツガイ 1,184 (32.2) トロノミ属 693 (18.9)	イワホリガイ科 896 (25.2) ウスカラシオツガイ 657 (18.5)	ウスカラシオツガイ 844 (23.7) イワホリガイ科 459 (12.9)	

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）（2） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

項目		調査点 層	イ			平 均
			上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	6	8	9	13	
	環形動物門	12	16	18	21	
	節足動物門	11	9	11	16	
	そ の 他	4	3	6	8	
	合 計	33	36	44	58	
個体数	軟体動物門	142	878	1,369	796	
	環形動物門	113	97	643	284	
	節足動物門	142	768	1,202	704	
	そ の 他	180	734	99	338	
	合 計	577	2,477	3,313	2,122	
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	24.6	35.4	41.3	37.5	
	環形動物門	19.6	3.9	19.4	13.4	
	節足動物門	24.6	31.0	36.3	33.2	
	そ の 他	31.2	29.6	3.0	15.9	
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	
湿重量 [g]	軟体動物門	5.91	35.48	63.60	35.00	
	環形動物門	1.40	0.88	4.07	2.12	
	節足動物門	17.78	215.47	271.21	168.15	
	そ の 他	8.27	8.73	2.52	6.51	
	合 計	33.36	260.56	341.40	211.77	
主要種 個体数[%]		タデシマイソギンチャク 178 (30.8)	イソギンチャク目 691 (27.9)	イワホリカ ^イ 科 960 (29.0)	イワホリカ ^イ 科 459 (21.6)	
		モクス ^イ ヨコエビ ^イ 科 66 (11.4)	ウスカテシオツカ ^イ 393 (15.9)	アメリカフジ ^ツ ホ ^イ 463 (14.0)	アメリカフジ ^ツ ホ ^イ 241 (11.4)	
		イワホリカ ^イ 科 65 (11.3)	イワホリカ ^イ 科 353 (14.3)	コウロエンカワヒバ ^イ リカ ^イ 370 (11.2)	イソギンチャク目 231 (10.9)	
			アメリカフジ ^ツ ホ ^イ 247 (10.0)			

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（ムラサキイガイ現存量調査） [令和6年11月]

調査日：令和6年12月2日

① 杓取り調査

項目		調査点	ア	イ	平均
個体数	上位		0	0	0
	中位		0	0	0
	下位		0	1	<1
湿重量[g]	上位		0.00	0.00	0.00
	中位		0.00	0.00	0.00
	下位		0.00	0.15	0.08

注）個体数、湿重量は0.25m²当たりで示す。

調査日：令和6年12月2日

② 目視観察

水深[m]	調査点	ア		イ	
		被度階級	層厚[mm]	被度階級	層厚[mm]
+1.0 ～ +0.5					
+0.5 ～ 0.0					
0.0 ～ -0.5					
-0.5 ～ -1.0					
-1.0 ～ -1.5					
-1.5 ～ -2.0					
-2.0 ～ -2.5					
-2.5 ～ -3.0					
-3.0 ～ -3.5					
-3.5 ～ -4.0					
-4.0 ～ -4.5					
-4.5 ～ -5.0					
-5.0 ～ -5.5					
-5.5 ～ -6.0					
-6.0 ～ -6.5					
-6.5 ～ -7.0					
-7.0 ～ -7.5					
-7.5 ～ -8.0					

注）調査点ア、イでは出現しなかった。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（1）

〔令和6年11月分〕

調査日：令和6年11月27日、12月2日

項目		調査点	3	4	7
種類数	魚類		7	5	1
	甲殻類（エビ・カニ類）		4	6	3
	頭足類（イカ・タコ類）				
	その他			1	1
	合計		11	12	5
個体数	魚類		24	26	1
	甲殻類（エビ・カニ類）		45	57	27
	頭足類（イカ・タコ類）				
	その他			2	2
	合計		69	85	30
湿重量 [g]	魚類		15,336.9	3,917.8	2.8
	甲殻類（エビ・カニ類）		264.2	62.0	211.4
	頭足類（イカ・タコ類）				
	その他			44.7	0.9
	合計		15,601.1	4,024.5	215.1
主要種 個体数[%]			シヤコ 39 (56.5) アカエイ 13 (18.8)	スベスベエビ 23 (27.1) アカエビ 22 (25.9) ハタテヌメリ 9 (10.6)	シヤコ 16 (53.3) ヨシエビ 10 (33.3)
主要種 湿重量[%]			アカエイ 13,091.2 (83.9) クロタエイ 1,557.7 (10.0)	アカエイ 3,866.5 (96.1)	ヨシエビ 167.3 (77.8) シヤコ 42.1 (19.6)
主要種の 全長[cm] (平均値)	サルボウガイ			4.0	
	シヤコ		6.5	7.2	6.0
	アカエビ			4.4	
	ヨシエビ		13.1		12.9
	スベスベエビ			3.9	
	サルエビ		7.1	4.0	6.2
	イシガニ			1.8	
	アカエイ		59.2	61.3	
	テンジクタイ		5.1	4.8	
	クロタエイ		45.6		
	ハタテヌメリ		8.1	8.7	7.8

- 注）1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 主要種の全長欄のイカ類は殻長を示し、カニ類は甲長を示す。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（2）

〔令和6年11月分〕

調査日：令和6年11月27日、12月2日

項目 \ 調査点		8	9	平均
種類数	魚類	2		9
	甲殻類（エビ・カニ類）	2	2	8
	頭足類（イカ・タコ類）			
	その他	1	1	2
	合計	5	3	19
個体数	魚類	3		11
	甲殻類（エビ・カニ類）	2	3	27
	頭足類（イカ・タコ類）			
	その他	1	1	1
	合計	6	4	39
湿重量 [g]	魚類	5,349.8		4,921.5
	甲殻類（エビ・カニ類）	23.5	3.7	113.0
	頭足類（イカ・タコ類）			
	その他	5.5	0.4	10.3
	合計	5,378.8	4.1	5,044.7
主要種 個体数[%]		アカエイ 2 (33.3) サルボウカレイ 1 (16.7) スヘスヘエビ 1 (16.7) イシカニ 1 (16.7) テンジクタイ 1 (16.7)	サルエビ 2 (50.0) サルボウカレイ 1 (25.0) ヨシエビ 1 (25.0)	シヤコ 11 (29.4) スヘスヘエビ 5 (12.4) アカエビ 4 (11.3)
主要種 湿重量[%]		アカエイ 5,349.3 (99.5)	ヨシエビ 2.9 (70.7) サルエビ 0.8 (19.5)	アカエイ 4,461.4 (88.4)
主要種の 全長[cm] (平均値)	サルボウカレイ	2.6	1.0	2.9
	シヤコ			6.4
	アカエビ			4.4
	ヨシエビ		7.5	12.5
	スヘスヘエビ	3.8		3.9
	サルエビ		3.3	4.3
	イシカニ	3.3		2.6
	アカエイ	78.2		61.6
	テンジクタイ	3.6		4.7
	クロタイ			45.6
	ハタテメリ			8.5

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 主要種の全長欄のニイカレイ類は殻長を示し、カニ類は甲長を示す。

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和6年11月分]

調査日：令和6年11月27日

調査点：3

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度 [%]
0.5	18.4	30.8	7.3	94.0
1.0	18.4	30.8	7.3	93.8
2.0	18.4	30.9	7.3	94.1
3.0	18.4	30.9	7.3	93.9
4.0	18.4	30.9	7.3	93.9
5.0	18.4	30.9	7.3	93.8
6.0	18.4	30.9	7.3	93.9
7.0	18.7	31.2	7.3	93.9
8.0	19.0	31.5	7.2	93.4
9.0	19.0	31.6	7.2	94.0
10.0	19.0	31.6	7.2	94.0
11.0	19.3	32.1	7.1	93.7
12.0	19.5	32.0	6.9	90.9
13.0	19.5	32.0	6.9	90.3
14.0	19.5	32.0	6.9	90.3
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	19.5	32.1	6.8	90.1

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

調査点： 4

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	15.5	25.8	10.5	123.1
1.0	15.1	27.7	9.9	117.3
2.0	16.4	29.5	8.8	107.6
3.0	16.6	30.6	8.5	105.7
4.0	16.8	31.2	8.1	101.2
5.0	16.9	31.4	7.8	97.2
6.0	17.2	31.8	7.6	96.3
7.0	17.3	32.0	7.6	95.5
8.0	17.4	32.0	7.5	95.1
9.0	17.4	32.1	7.5	94.8
10.0	17.4	32.1	7.4	94.0
11.0	17.4	32.1	7.4	93.6
12.0	17.4	32.1	7.4	93.3
13.0	17.4	32.1	7.3	92.8
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	17.4	32.1	7.3	92.7

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和6年11月分]

調査日：令和6年11月27日

調査点：7

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度 [%]
0.5	18.7	31.3	6.9	88.9
1.0	18.7	31.3	6.9	89.0
2.0	18.7	31.3	6.9	88.7
3.0	18.7	31.3	6.9	88.8
4.0	18.7	31.3	6.9	88.8
5.0	18.7	31.3	6.9	89.0
6.0	18.7	31.3	6.9	89.0
7.0	18.7	31.3	6.9	88.8
8.0	18.7	31.3	6.8	88.6
9.0	18.9	31.5	6.8	88.4
10.0	19.3	31.9	6.6	86.6
11.0	19.7	32.1	6.2	82.0
12.0	19.7	32.1	6.0	79.7
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	19.7	32.1	6.0	78.9

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

調査点：8

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度 [%]
0.5	16.6	22.3	8.2	96.7
1.0	16.7	24.0	8.1	96.8
2.0	17.3	29.5	7.6	94.6
3.0	17.2	30.6	7.5	94.2
4.0	17.0	31.0	7.7	96.5
5.0	17.3	31.2	7.5	94.5
6.0	17.3	31.5	7.2	90.5
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	17.6	31.7	6.9	87.4

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和6年11月分]

調査日：令和6年12月2日

調査点：9

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	14.8	14.7	7.6	82.2
1.0	16.2	20.8	6.7	77.8
2.0				
3.0				
4.0				
5.0				
6.0				
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	17.4	26.5	6.1	75.2

海域生態系様式9号

水産生物調査結果（小型地曳網等調査）〔令和6年11月分〕

調査日：令和6年11月25日

項目		調査点	A
水 温(表層)		[℃]	14.4
塩 分(表層)		[－]	23.3
種類数	魚類		2
	甲殻類(エビ・カニ類)		1
	頭足類(イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		3
個体数	魚類		29
	甲殻類(エビ・カニ類)		3
	頭足類(イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		32
湿重量 [g]	魚類		0.2
	甲殻類(エビ・カニ類)		+
	頭足類(イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		0.2
主要種 個体数 [%]		キヌ	26 (82.7)
主要種 湿重量 [%]		キヌ	0.2 (100.0)
主要種の 全長 [cm] (平均値)	キヌ		1.5

- 注) 1. 調査では4回曳網を行っている。
 2. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 3. 主要種は調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、
 組成比率が10%以上のものを示す。
 4. +は0.1g未満を示す。